



渡辺志桜里

1984年東京都生まれ。

2015年に東京藝術大学美術学部彫刻科を卒業後、17年に同大学大学院を修了。

2020年に渡邊慎二郎との2人展「Dyadic Stem」(The 5th Floor、東京)や「ノンヒューマン・コントロール」(TAV GALLERY、東京)、

2021年Chim↑Pom・卯城竜太キュレーションによる

初個展「ベベ (WHITEHOUSE)」で独自の世界観を表現しました。

自身の代表作でもあるインスタレーション作品《サンルーム》において、

渡辺にとって身近な遊び場であった皇居から採取された植物、魚、バクテリアなどを別々の水槽に分離させ、それぞれを繋ぎ合わせ水を循環させることで、

自動の生態系をつくり出し、それらのアップデートを重ねることによって

人類絶滅後も持続可能な生物の営みを維持しています。

そこで行われる脱中心的な運動から独自の政治的批判やフェミニズムを語ってきました。